

## 平成27年度展示予定

一般財団法人日本工芸館

月 日	展 示 内 容
自4月 8日 至6月30日	<p>◆<u>古作・薩摩の田の神展</u> 「石の芸術」江戸時代の農民の心のよりどころ、田の神を約50点展示</p> <p>◆<u>現代・東北 関東 北信越の民陶展</u> 現代生産されている東北・関東・北信越の民陶約80点を展示</p>
自4月 8日 至5月 1日 自5月14日 至6月30日	<p>◆<u>現代・静岡の型染展</u> 静岡の型染を約40点展示</p>
自5月 8日 至5月10日	<p>◆<u>琉球染織展</u> 琉球染織品の展示販売</p>
自7月 8日 至10月4日	<p>◆<u>古作・瀬戸の石皿展</u> 瀬戸の石皿（絵皿）約70点を展示</p> <p>◆<u>現代・各地の漆器展</u> 各地の漆器を約100点展示</p>
至7月 8日 自9月27日	<p>◆<u>現代・各地の吹きガラス展</u> 札幌・津軽・福岡・沖縄で生産される花瓶・食器など約120点を展示</p>
自10月1日 至10月4日	<p>◆<u>琉球染織展</u> 琉球染織品の展示販売</p>
自11月 1日 至11月22日	<p>◆<u>特別展・第57回日本民芸公募展</u> 全国で生産される伝統的工芸品（民芸品）を広く公募、一堂に集めて審査し、入選作品のみを展示します。本展は伝統的工芸品月間に呼応して、伝統的工芸品である民芸品の振興と普及、更には技術の向上と消費者生活の美化を主眼として、経済産業省・厚生労働省・中小企業庁・近畿経済産業局・大阪府・大阪市・NHK・日本商工会議所の後援（申請中）を得て開催するものです。</p>
自12月16日 至平成28年 3月31日	<p>◆<u>古薩摩・苗代川焼甘酒半胴展</u> 江戸時代の貼付・掻き落とし文の甘酒半胴を約40点展示</p> <p>◆<u>現代・丹波立杭焼民陶展</u> 現在生産されている壺・食器など約100点展示</p> <p>◆<u>現代・各地の郷土玩具展</u> 各地で生産された郷土玩具（土人形・張子・凧）約150点を展示</p>
常設展示	<p>◆<u>大阪伝統工芸品室</u> 伝統的工芸品である大阪欄間（経済産業大臣指定）と彫刻、大阪唐木指物（経済産業大臣指定）、深江の釜（大阪伝統工芸品）等を展示</p>

※ 展示予定については予告なしに変更することがあります。

※ 休館日：月曜日・第2火曜日・年末年始

## 平成26年度展示予定

一般財団法人日本工芸館

月 日	展 示 内 容
自4月9日 至4月13日	◆ <u>村西徳子「ジャパン・ブルーの世界」</u> 一河内木綿 文様と藍染の美一
自4月19日  至6月29日	◆ <u>古作・種子島焼展</u> 壺・徳利・皿など約70点を展示 ◆ <u>現代・東北 山陽 山陰の民陶展</u> 現在生産されている壺・食器など民陶約100点展示
自4月19日 至5月2日 自5月15日 至6月29日	◆ <u>古作・白子の型紙展</u> 伊勢白子の型紙を約40点展示
自5月8日 至5月11日	◆ <u>琉球染織展</u> 琉球染織品の展示販売
自7月6日  至10月5日	◆ <u>古丹波焼展</u> 室町時代から江戸時代の壺・甕など約70点を展示 ◆ <u>現代・沖縄の壺屋焼展</u> 沖縄で生産された民陶の壺・皿・花瓶・シーサー等約100点を展示
至7月6日 自9月28日	◆ <u>現代・讃岐の絵絣展</u> 四国讃岐の絵絣約36点を展示
自10月2日 至10月5日	◆ <u>琉球染織展</u> 琉球染織品の展示販売
自11月1日  至11月23日	◆ <u>特別展・第56回日本民芸公募展</u> 全国で生産される伝統的工芸品（民芸品）を広く公募、一堂に集めて審査し、入選作品のみを展示します。本展は伝統的工芸品月間に呼応して、伝統的工芸品である民芸品の振興と普及、更には技術の向上と消費者生活の美化を主眼として、経済産業省・厚生労働省・中小企業庁・近畿経済産業局・大阪府・大阪市・NHK・日本商工会議所の後援（申請中）を得て開催するものです。
自12月17日  至平成27年 3月31日	◆ <u>各地の古陶磁展</u> 室町時代から江戸時代の壺・甕・徳利等を約50点展示 ◆ <u>現代・小石原焼と小鹿田焼展</u> 壺・大皿など生活雑器約100点を展示 ◆ <u>現代・各地の郷土玩具展</u> 各地で生産された郷土玩具（土人形・張子・凧）約150点を展示
常設展示	◆ <u>大阪伝統工芸品室</u> 伝統的工芸品である大阪欄間（経済産業大臣指定）と彫刻、大阪唐木指物（経済産業大臣指定）、深江の釜（大阪伝統工芸品）等を展示

※ 展示予定については予告なしに変更することがあります。

※ 休館日：月曜日・第2火曜日・年末年始

## 平成25年度展示予定

一般財団法人日本工芸館

月 日	展 示 内 容
自 4月6日 至 6月30日	<p>◆<u>古作・瀬戸の行灯油受皿展</u> 江戸時代の行灯油受皿約100点を展示</p> <p>◆<u>現代・各地の漆器展</u> 各地の漆器を約100点展示</p>
自 4月6日 至 4月30日 自 5月15日 至 6月30日	<p>◆<u>讃岐嫁入り布団と阿波しじら織展</u> 布団約5点としじら織約20点</p>
自 5月8日 至 5月11日	<p>◆<u>琉球染織展</u> 沖縄県の伝統染織品展示販売</p>
自 7月6日 至 10月6日	<p>◆<u>古作・薩摩の田の神展</u> 「石の芸術」江戸時代の農民の心のよりどころ、田の神を約50点展示</p> <p>◆<u>現代・九州の民陶展</u> 九州で生産された民陶約200点を展示</p>
至 7月6日 自 9月29日	<p>◆<u>現代・各地のこけし展</u> 各地のこけし約100点を展示</p>
自 10月3日 至 10月6日	<p>◆<u>琉球染織展</u> 沖縄県の伝統染織品展示販売</p>
自 11月1日 至 11月24日	<p>◆<u>特別展・第55回日本民芸公募展</u> 全国で生産される伝統的工芸品（民芸品）を広く公募、一堂に集めて審査し、入選作品のみを展示します。本展は伝統的工芸品月間に呼応して、伝統的工芸品である民芸品の振興と普及、更には技術の向上と消費者生活の美化を主眼として、経済産業省・厚生労働省・中小企業庁・近畿経済産業局・大阪府・大阪市・NHK・日本商工会議所の後援（申請中）を得て開催するものです。</p>
自 12月17日 至 平成26年 3月30日	<p>◆<u>古薩摩・苗代川焼甘酒半胴展</u> 江戸時代の貼付・搔き落とし紋の甘酒半胴を約40点展示</p> <p>◆<u>現代・丹波立杭焼民陶展</u> 現在生産されている壺・食器など民陶約100点展示</p> <p>◆<u>現代・各地の郷土玩具展</u> 各地で生産された郷土玩具（土人形・張子・凧）約150点を展示</p>
常設展示	<p>◆<u>大阪伝統工芸品室</u> 伝統的工芸品である大阪欄間（経済産業大臣指定）と彫刻、大阪唐木指物（経済産業大臣指定）、深江の釜（大阪伝統工芸品）等を展示</p>

※ 展示予定については予告なしに変更することがあります。

※ 休館日：月曜日・第2火曜日・年末年始

## 平成24年度展示予定

一般財団法人日本工芸館

月 日	展 示 内 容
自 4月11日 至 4月15日	◆ <u>京都・露古壽窯展</u> 西堀寛厚 作陶50年目の春
自 5月11日 至 5月13日	◆ <u>琉球染織展</u> 沖縄県の伝統染織品展示販売
自 4月21日  至 6月30日	◆ <u>古作・瀬戸の石皿展</u> 瀬戸の石皿（絵皿）約70点を展示 ◆ <u>現代・小石原焼と小鹿田焼展</u> 壺・大皿など生活雑器約100点を展示 ◆ <u>現代・静岡の型染展</u> 静岡の型染約40点展示
自 7月6日  至 10月7日	◆ <u>古丹波焼展</u> 室町時代から江戸時代の壺・甕など約70点を展示 ◆ <u>現代・各地の竹・蔓細工展</u> 各地で生産された箆・籠など約80点を展示
7月6日～ 10月2日	◆ <u>現代・各地の吹きガラス展</u> 札幌・津軽・福岡・沖縄で生産される花瓶・食器など約120点を展示
自 10月5日 至 10月7日	◆ <u>琉球染織展</u> 沖縄県の伝統染織品展示販売
自 11月 1日  至 11月25日	◆ <u>特別展・第54回日本民芸公募展</u> 全国で生産される伝統的工芸品（民芸品）を広く公募、一堂に集めて審査し、入選作品のみを展示します。本展は伝統的工芸品月間に呼応して、伝統的工芸品である民芸品の振興と普及、更には技術の向上と消費者生活の美化を主眼として、経済産業省・厚生労働省・中小企業庁・近畿経済産業局・大阪府・大阪市・NHK・日本商工会議所の後援（申請中）を得て開催するものです。
自 12月18日 至 平成25年 3月31日	◆ <u>古作・種子島焼展</u> 壺・徳利・皿など約70点を展示 ◆ <u>現代・東北 関東 北信越の民陶展</u> 現代生産されている関東・北信越・東北の民陶約80点を展示
自 12月18日 至 1月31日	◆ <u>現代・各地の郷土玩具展</u> 各地で生産された郷土玩具（土人形・張子・凧）約150点を展示
自 2月5日 至 3月31日	◆ <u>現代・各地の染織展</u> 全国各地で生産された着尺・帯など約50点を展示
常設展示	◆ <u>大阪伝統工芸品室</u> 伝統的工芸品である大阪欄間（経済産業大臣指定）と彫刻、大阪唐木指物（経済産業大臣指定）、深江の釜（大阪伝統工芸品）等を展示

※ 展示予定については予告なしに変更することがあります。

※ 休館日：月曜日・第2火曜日・年末年始

## 平成23年度展示予定

一般財団法人日本工芸館

月 日	展 示 内 容
自 4月 6日  至 6月 30日	<p>◆<u>古薩摩・苗代川焼甘酒半胴展</u> 江戸時代の貼付・掻き落とし紋の甘酒半胴を約40点展示</p> <p>◆<u>現代・沖縄の民芸展</u> 沖縄で生産された陶器・漆器・染織等を約100点展示</p> <p>◆<u>現代・阿波しじら織展</u> 四国徳島の阿波しじら織を約50点展示</p>
自 7月 6日  至 10月 9日	<p>◆<u>各地の古陶磁器展</u> 室町時代から江戸時代の壺・甕・徳利等を約50点展示</p> <p>◆<u>現代・東北 山陽 山陰の民陶展</u> 現在生産されている壺・食器など民陶約100点展示</p> <p>◆<u>現代・各地のこけし展</u> 各地のこけし約100点を展示</p>
自 11月 1日  至 11月 20日	<p>◆<u>特別展・第53回日本民芸公募展</u> 全国で生産される伝統的工芸品（民芸品）を広く公募、一堂に集めて審査し、入選作品のみを展示します。 本展は伝統的工芸品月間に呼応して、伝統的工芸品である民芸品の振興と普及、更には技術の向上と消費者生活の美化を主眼として、経済産業省・厚生労働省・中小企業庁・近畿経済産業局・大阪府・大阪市・NHK・日本商工会議所の後援（申請中）を受けて開催するもので、予定出品数は約1,300点の見込みです。</p>
自 12月 14日  至 平成24年 3月 31日	<p>◆<u>古薩摩の陶磁器展</u> 龍門司焼・苗代川焼・種子島焼など民陶を約80点展示</p> <p>◆<u>現代・各地の漆器展</u> 各地の漆器を約100点展示</p>
自 12月 14日 至 1月 31日	<p>◆<u>現代・各地の郷土玩具展</u> 各地で生産された郷土玩具（土人形・張子・凧）等約150点展示</p>
自 2月 3日 至 3月 31日	<p>◆<u>古作・白子の型紙展</u> 伊勢白子の型紙を約40点展示</p>
常設展示	<p>◆<u>大阪伝統工芸品室</u> 伝統的工芸品である大阪欄間（経済産業大臣指定）と彫刻、大阪唐木指物（経済産業大臣指定）、深江の釜（大阪伝統工芸品）等を展示</p>

※ 展示予定については予告なしに変更することがあります。

※ 休館日：月曜日・第2火曜日・年末年始

## 平成22年度展示予定

財団法人日本工芸館

月 日	展 示 内 容
自 4月 6日  至 6月 30日	<p>◆<u>古作・薩摩の田の神展</u> 「石の芸術」江戸時代の農民の心のよりどころ、田の神を約50点展示</p> <p>◆<u>現代・沖縄の民陶展</u> 沖縄で生産された民陶の壺・皿・花瓶・シーサー等約100点を展示</p> <p>◆<u>現代・各地の吹きガラス展</u> 札幌・津軽・福岡・沖縄で生産される花瓶・食器など約120点展示</p>
自 7月 6日  至 10月 10日	<p>◆<u>古丹波焼展</u> 室町時代から江戸時代の壺・甕・徳利など民陶約70点展示</p> <p>◆<u>現代・丹波立杭焼民陶展</u> 現在生産されている壺・食器など民陶約100点展示</p> <p>◆<u>現代・各地の手漉き和紙展</u> 全国各地の手漉き和紙(見本)約120点を展示</p>
自 11月 2日  至 11月 21日	<p>◆<u>特別展・第52回日本民芸公募展</u> 全国で生産される伝統的工芸品(民芸)を広く公募、一堂に集めて審査し、入選作品のみを展示します。 本展は伝統的工芸品月間に呼応して、伝統的工芸品である民芸品の振興と普及、更には技術の向上と消費者生活の美化を主眼として、経済産業省・厚生労働省・中小企業庁・近畿経済産業局・大阪府・大阪市・NHK・日本商工会議所の後援(申請中)を受けて開催するもので、予定出品数は約1,300点の見込みです。</p>
自 12月 17日  至 平成23年 3月 31日	<p>◆<u>古作・瀬戸の行灯油受皿展</u> 江戸時代の行灯油受皿約100点を展示</p> <p>◆<u>現代・九州の民陶展</u> 九州で生産された民陶約200点を展示</p>
自 12月 17日 至 1月 30日	<p>◆<u>現代・各地の郷土玩具展</u> 各地で生産された郷土玩具(土人形・張子・凧)等約150点展示</p>
自 2月 3日 至 3月 31日	<p>◆<u>現代・讃岐の絵絣展</u> 四国讃岐の絵絣約36点を展示</p>
常設展示	<p>◆<u>大阪伝統工芸品室</u> 伝統的工芸品である大阪欄間(経済産業大臣指定)と彫刻、大阪唐木指物(経済産業大臣指定)、深江の釜(大阪伝統工芸品)等を展示</p>

※ 展示予定については予告なしに変更することがあります。

※ 休館日：月曜日・第2火曜日・年末年始

## 平成21年度展示予定

財団法人日本工芸館

月 日	展 示 内 容
自 4月 7日  至 6月30日	<p>◆<u>古作・瀬戸の石皿展</u> 瀬戸の石皿（絵皿）を約70点展示</p> <p>◆<u>現代・各地の漆器展</u> 各地の漆器を約100点展示</p> <p>◆<u>古作・白子の型紙展</u> 伊勢白子で作られた型紙を約40点展示</p>
7月 7日～ 7月12日	<p>◆<u>特別企画展</u> ワイヤーアート&amp;パッケージクラフト&amp;はにわの世界</p>
自 7月16日  至 10月11日	<p>◆<u>古作・苗代川焼甘酒半胴展</u> 江戸時代の貼付紋甘酒半胴を約40点展示</p> <p>◆<u>現代・山陽山陰の民陶展</u> 現在生産されている壺・皿など食器を約160点展示</p> <p>◆<u>現代・静岡の型染展</u> 静岡の型染約40点展示</p>
自 11月 1日  至 11月22日	<p>◆<u>特別展・第51回日本民芸公募展</u> 全国で生産される伝統的工芸品（民芸）を広く公募、一堂に集めて審査し、入選作品のみを展示します。 本展は伝統的工芸品月間に呼応して、伝統的工芸品である民芸品の振興と普及、更には技術の向上と消費者生活の美化を主眼として、経済産業省・厚生労働省・中小企業庁・近畿経済産業局・大阪府・大阪市・NHK・日本商工会議所の後援（申請中）を受けて開催するもので、予定出品数は約1,300点の見込みです。</p>
自 12月17日 至 平成22年 3月31日	<p>◆<u>古作・種子島焼展</u> 壺・徳利・皿などを約70点展示</p> <p>◆<u>現代・小石原焼と小鹿田焼展</u> 壺・大皿など生活雑器を約100点展示</p>
自12月17日 至 1月31日	<p>◆<u>各地の郷土玩具展</u> 各地で生産された郷土玩具（土人形・張子・凧）等約150点展示</p>
自 2月4日 至3月31日	<p>◆<u>各地の染織展</u> 全国各地で生産された着尺・帯などを約50点展示</p>
常設展示	<p>◆<u>大阪伝統工芸品室</u> 伝統的工芸品である大阪欄間（経済産業大臣指定）と彫刻、大阪唐木指物（経済産業大臣指定）、深江の釜（大阪伝統工芸品）等を展示</p>

※ 展示予定については予告なしに変更することがあります。

※ 休館日：月曜日・第2火曜日・ゴールデンウィーク・年末年始

## 平成20年度展示予定

財団法人日本工芸館

月 日	展 示 内 容
自 4月 6日  至 6月 29日	<p>◆<u>古薩摩焼展</u> 龍門司焼・苗代川焼・種子島焼など民陶を約80点展示</p> <p>◆<u>沖縄の漆器展</u> 現代の琉球漆器約70点展示</p> <p>◆<u>東北のこけし展</u> 各地で生産されたこけし約120点展示</p>
自 7月 6日  至 10月 12日	<p>◆<u>古丹波焼展</u> 室町時代から江戸時代の壺・甕など民陶約70点展示</p> <p>◆<u>現代丹波立杭焼民陶展</u> 現在生産されている壺・食器など民陶約100点展示</p> <p>◆<u>各地の吹きガラス展</u> 札幌・津軽・福岡・沖縄で生産される花瓶・食器など約120点展示</p>
自 11月 1日  至 11月 23日	<p>◆<u>特別展・第50回日本民芸公募展</u> 全国で生産される伝統的工芸品（民芸）を広く公募、一堂に集めて審査し、入選作品のみを展示します。 本展は伝統的工芸品月間に呼応して、伝統的工芸品である民芸品の振興と普及、更には技術の向上と消費者生活の美化を主眼として、経済産業省・厚生労働省・中小企業庁・近畿経済産業局・大阪府・大阪市・NHK・日本商工会議所の後援（申請中）を受けて開催するもので、予定出点数は約1,300点の見込みです。</p>
自 12月 18日 至 平成21年 3月 31日	<p>◆<u>薩摩の田の神展</u> 江戸時代の庶民の守り神、石の芸術「田の神像」約50点展示</p> <p>◆<u>各地の竹・蔓細工展</u> 各地で生産された箆・籠など約80点展示</p>
自 12月 18日 至 1月 30日	◆ <u>各地の郷土玩具展</u> 各地で生産された郷土玩具（土人形・張子・凧）等約130点展示
自 2月 3日 至 3月 31日	◆ <u>阿波しじら織と讃岐の嫁入りふとん展</u> 現在生産されるしじら織と江戸時代の嫁入りふとん・油単など約50点展示
常設展示	◆ <u>大阪伝統工芸品室</u> 伝統的工芸品である大阪欄間（経済産業大臣指定）と彫刻、大阪唐木指物（経済産業大臣指定）、深江の釜（大阪伝統工芸品）等を展示



## 平成19年度展示予定

財団法人日本工芸館

月 日	展 示 内 容
自 4月 6日  至 6月30日	<p>◆<u>瀬戸の行灯油受皿展</u> 江戸時代の行灯油受皿約100点を展示</p> <p>◆<u>沖縄の民陶展</u> 沖縄で生産された民陶の壺・皿・花瓶・シーサー等約100点を展示</p> <p>◆<u>各地の染織展</u> 全国各地で生産された着尺・帯等約40点を展示</p>
自 7月 6日  至 10月11日	<p>◆<u>薩摩の甘酒半胴展</u> 江戸時代の苗代川焼貼付紋甕約40点展示</p> <p>◆<u>九州の民陶展</u> 現代、九州で生産された民陶約200点を展示</p> <p>◆<u>各地の手漉き和紙展</u> 全国各地の手漉き和紙約120点を展示</p>
自 11月 1日  至 11月25日	<p>◆<u>特別展・第49回日本民芸公募展</u> 全国で生産される伝統的工芸品（民芸）を広く公募、一堂に集めて審査し、入選作品のみを展示します。 本展は伝統的工芸品月間に呼応して、伝統的工芸品である民芸品の振興と普及、更には技術の向上と消費者生活の美化を主眼として、経済産業省・厚生労働省・中小企業庁・近畿経済産業局・大阪府・大阪市・NHK・日本商工会議所の後援（申請中）を受けて開催するもので、予定出点数は約1,300点の見込みです。</p>
自 12月18日  至 平成20年 3月30日	<p>◆<u>各地の古陶磁展</u> 日本六古窯等各地の陶磁器約50点を展示</p> <p>◆<u>各地の民窯皿と風絵展</u> 全国各地で生産された皿約140点と風絵約30点を展示</p>
自12月18日 至 1月31日	<p>◆<u>各地の郷土玩具展</u> 全国各地で生産された郷土玩具（土人形・張子）等約130点展示</p>
自 2月3日 至3月30日	<p>◆<u>讃岐の絵絣展</u> 四国讃岐の絵絣約36点を展示</p>
常設展示	<p>◆<u>大阪伝統工芸品室</u> 伝統的工芸品である大阪欄間（経済産業大臣指定）と彫刻、大阪唐木指物（経済産業大臣指定）、深江の釜（大阪伝統工芸品）等を展示</p>

## 平成18年度展示予定

財団法人日本工芸館

月 日	展 示 内 容
自 4月 6日  至 6月30日	<p>◆<u>古作種子島焼展</u> 壺・徳利ほか約70点を展示</p> <p>◆<u>現代各地漆器展</u> 各地で生産されている漆器約110点を展示</p> <p>◆<u>古作白子の型紙展</u> 古作の型紙約40点を展示</p>
自 7月 6日  至 10月 8日	<p>◆<u>古丹波焼展</u> 南北朝時代から江戸時代の壺・徳利ほか約40点展示</p> <p>◆<u>現代山陽・山陰の民陶展</u> 現代生産されている食器ほか約100点を展示</p> <p>◆<u>現代阿波しじら織展</u> 着尺約50点を展示</p>
自 11月 1日  至 11月19日	<p>◆<u>特別展・第48回日本民芸公募展</u> 全国で生産される伝統的工芸品（民芸）を広く公募、一堂に集めて審査し、入選作品のみを展示します。 本展は伝統的工芸品月間に呼応して、伝統的工芸品である民芸品の振興と普及、更には技術の向上と消費者生活の美化を主眼として、経済産業省・厚生労働省・中小企業庁・近畿経済産業局・大阪府・大阪市・NHK・日本商工会議所の後援（申請中）を受けて開催するもので、予定出展数は約1,300点の見込みです。</p>
自 12月13日  至 平成19年 3月31日	<p>◆<u>古作薩摩の田の神展</u> 江戸時代の石の芸術約50点体を展示</p> <p>◆<u>古作讃岐の嫁入り布団展</u> 江戸時代の嫁入り布団約10点を展示</p> <p>◆<u>現代関東・北信越・東北の民陶展</u> 現代生産されている関東・北信越・東北の民陶約80点を展示</p>
自 12月13日 至 1月31日	<p>◆<u>現代各地の郷土玩具展</u> 全国各地で生産されている郷土玩具（土人形・張子・凧絵）を約160点展示</p>
自 2月3日 至 3月31日	<p>◆<u>現代・静岡の型染展</u> 型染めの文様約50点を展示</p>
常設展示	<p>◆<u>大阪伝統工芸品室</u> 伝統的工芸品である大阪欄間（経済産業大臣指定）と彫刻、大阪唐木指物（経済産業大臣指定）、深江の釜（大阪伝統工芸品）等を展示</p>

## 平成17年度展示予定

財団法人日本工芸館

月 日	展 示 内 容
自 4月 7日  至 6月 30日	<p>◆<u>古薩摩焼展</u> 苗代川焼、龍門司焼ほか約70点を展示</p> <p>◆ <u>竹・蔓 展</u> 籠等細工物約50点を展示</p> <p>◆<u>現代吹きガラス展</u> 札幌・津軽・福岡・沖縄の吹きガラス約120点を展示</p>
7月 7日  至 10月 9日	<p>◆<u>瀬戸の石皿展</u> 馬の目皿、絵皿約70点展示</p> <p>◆<u>現代・沖縄民芸展</u> 壺・皿・花瓶・シーサー・漆器等約120点を展示</p> <p>◆<u>現代・沖縄染織展</u> 着尺・帯・暖簾等約50点を展示</p>
自 11月 1日  至 11月 20日	<p>◆<u>特別展・第47回日本民芸公募展</u> 全国で生産される伝統的工芸品（民芸）を広く公募、一堂に集めて審査し、入選作品のみを展示します。 本展は伝統的工芸品月間に呼応して、伝統的工芸品である民芸品の振興と普及、更には技術の向上と消費者の美化を主眼として、経済産業省・厚生労働省・中小企業庁・近畿経済産業局・大阪府・大阪市・NHK・日本商工会議所の後援を受けて開催するもので、予定出展数は約1300点の見込みです。</p>
自 12月 14日 至 平成18年 3月 31日	<p>◆<u>各地古陶磁展</u> 六古窯ほか各地の壺・瓶・徳利等約100点を展示</p> <p>◆<u>現代・小石原焼、小鹿田焼展</u> 壺・大皿ほか生活雑器約150点展示</p>
自 12月 14日 至 1月 31日	<p>◆<u>現代・各地郷土玩具・凧絵展</u> 全国各地で生産される郷土玩具（土人形・張子）凧絵等を展示</p>
自 2月 4日 至 3月 31日	<p>◆<u>こけし展</u> 各地のこけし約100点を展示</p>
常設展示	<p>◆<u>大阪伝統工芸品室</u> 伝統的工芸品である大阪欄間（経済産業大臣指定）と彫刻、大阪唐木指物（経済産業大臣指定）、深江の釜（大阪伝統工芸品）等を展示</p>

## 平成16年度展示予定

財団法人日本工芸館

月 日	展 示 内 容
自 4月 6日  至 6月 30日	<p>◆<u>薩摩田の神展</u> 江戸時代庶民の心のよりどころ、田の神約70体を展示</p> <p>◆<u>現代・各地民窯展</u> 伝統的工芸品（民芸）の徳利・壺・皿等約150点を展示</p> <p>◆<u>現代各地染織展</u> 着尺・帯・暖簾等約50点を展示</p>
7月 6日  至 10月 10日	<p>◆<u>古丹波焼展</u> 南北朝から江戸時代の壺・徳利・甕等約70点展示</p> <p>◆<u>現代・沖縄壺屋焼展</u> 壺・皿・花瓶・シーサー等約80点を展示</p> <p>◆<u>各地の手漉き和紙展</u> 各地の手漉き和紙・小物等約70点を展示</p>
自 11月 2日  至 11月 21日	<p>◆<u>特別展・第46回日本民芸公募展</u> 全国で生産される伝統的工芸品（民芸）を広く公募、一堂に集めて審査し、入選作品のみを展示します。 本展は伝統的工芸品月間に呼応して、伝統的工芸品である民芸品の振興と普及、更には技術の向上と消費者の美化を主眼として、経済産業省・厚生労働省・中小企業庁・近畿経済産業局・大阪府・大阪市・NHK・日本商工会議所の後援を受けて開催するもので、予定出展数は約1300点の見込みです。</p>
自 12月 15日 至 平成17年 3月 31日	<p>◆<u>瀬戸行灯油受皿展</u> 江戸時代の行灯油受皿約100点を展示</p> <p>◆<u>現代・九州陶磁展</u> 小石原焼・小鹿田焼・龍門司焼等の陶磁器約100点を展示</p>
自 12月 15日 至 1月 30日	<p>◆<u>現代・各地の郷土玩具・凧絵展</u> 全国各地で生産される郷土玩具（土人形・張子）凧絵等を展示</p>
自 2月 3日 至 3月 31日	<p>◆<u>静岡型染展</u> 静岡の型染約40点を展示</p>
常設展示	<p>◆<u>大阪伝統工芸品室</u> 伝統的工芸品である大阪欄間（経済産業大臣指定）と彫刻、大阪唐木指物（経済産業大臣指定）、深江の釜（大阪伝統工芸品）等を展示</p>

## 平成15年度展示予定

財団法人日本工芸館

月 日	展 示 内 容
自 4月 4日  至 6月 29日	<p>◆<u>古作種子島焼展</u> 徳利・壺など約70点を展示</p> <p>◆<u>現代各地漆器展</u> 沖縄をはじめ各地の漆器約120点を展示</p> <p>◆<u>古作白子の型紙展</u> 型紙約30点を展示</p>
7月 4日～ 7月 10日 7月 13日～  7月 4日～  至 10月 5日	<p>◆<u>現代韓国・錦川窯の陶磁器展</u></p> <p>◆<u>古作薩摩苗代川焼の甘酒半胴展</u> 貼り付け紋瓶約40点を展示</p> <p>◆<u>現代東北・山陰・山陽の民陶展</u> 壺・皿・花瓶等約80点を展示</p> <p>◆<u>現代各地吹きガラス展</u> 札幌・津軽・福岡・沖縄の吹きガラス80点を展示</p>
自 11月 1日  至 11月 16日	<p>◆<u>特別展・第45回日本民芸公募展</u> 全国で生産される民芸品を広く公募し、一堂に集めて審査し、入選作品のみを展示します。 本展は伝統的工芸品月間に呼応して、伝統的工芸品である民芸品の振興と普及、更には技術の向上と消費者の美化を主眼として、経済産業省・厚生労働省・中小企業庁・近畿経済産業局・大阪府・大阪市。NHK・日本商工会議所の後援を受けて開催するもので、予定出展数は約1300点の見込みです。</p>
自 12月 10日  至 平成16年 3月 31日	<p>◆<u>各地古陶磁展</u> 六古窯外各地の壺・瓶・徳利等約80点を展示</p> <p>◆<u>現代各地皿展</u> 伝統工芸品として経済産業大臣より指定の陶磁器外約150点を展示</p>
自12月 10日 至1月 31日	<p>◆<u>現代各地郷土玩具・凧絵展</u> 全国各地で生産される郷土玩具の土人形・張子・凧絵を展示</p>
自 2月 4日 至3月 31日	<p>◆<u>古作讃岐の嫁入りふとん・絵絣展</u> 讃岐のふとん・絵絣等約30点を展示</p>
常設展示	<p>◆<u>大阪伝統工芸品室</u> 伝統的工芸品である大阪欄間（経済産業大臣指定）と彫刻、大阪唐木指物（経済産業大臣指定）、深江の釜（大阪伝統工芸品）等を展示</p>

## 平成14年度展示予定

財団法人日本工芸館

月 日	展 示 内 容
自 4月 5日  至 6月26日	<p>◆<u>古丹波焼展</u> 徳利・壺など70点を展示</p> <p>◆<u>各地民窯食器展</u> 徳利・壺・皿など150点を展示</p> <p>◆<u>各地和紙展</u> 加工品など100点を展示</p>
自 7月2日 至 7月7日 自 7月12日  至 10月10日	<p>◆<u>久留米絣展</u> 着尺・小物ほか</p> <p>◆<u>薩摩の田の神展</u> 石の芸術役50点を展示</p> <p>◆<u>現代九州の陶磁器展</u> 小石原焼・小鹿田焼・龍門司焼・苗代川焼・武雄唐津焼・伊万里焼 黒牟田焼を展示</p> <p>◆<u>各地染織展</u> 各地の染織（着尺・二次製品）約80点を展示</p>
自 11月 1日  至 11月17日	<p>◆<u>特別展・第44回日本民芸公募展</u> 全国で生産される民芸品を広く公募し、一堂に集めて審査し、入選作品のみをてんじします。 本展は伝統的工芸品月間に呼応して、伝統的工芸品である民芸品の振興と普及、更には技術の向上と消費者の美化を主眼として、経済産業省・労働省・中小企業庁・NHK・日本商工会議所・近畿経済産業局・大阪府・大阪市の後援を受けて開催するもので、予定出展数は約1500点の見込みです。</p>
自 12月10日 至 平成15年 3月31日	<p>◆<u>瀬戸の石皿展</u> 安部仲ア麻呂絵ほか約100点を展示</p> <p>◆<u>沖縄壺屋焼展</u> 壺・花瓶・皿・香呂・シーサー等を展示</p>
自12月10日 至1月31日	<p>◆<u>各地郷土玩具展</u> 全国各地で生産される郷土玩具の土人形・張子・凧絵を展示</p>
自 2月4日 至3月31日	<p>◆<u>讃岐の嫁入り布団・絵絣展</u> 布団・絵絣約30点を展示</p>
常設展示	<p>◆<u>大阪伝統工芸品室</u> 伝統的工芸品である大阪欄間（経済産業大臣指定）と彫刻、大阪唐木指物（経済産業大臣指定）、深江の釜（大阪伝統工芸品）等を展示</p>